

第2510地区 第11グループ

函館東ロータリークラブ

素敵なロータリーライフとともに

2013～2014年度 会長 池垣 信一



2013~2014
会報
第2746回
2月25日(火)

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/池垣信一 ●副会長/松山茂 ●会長エレクト/五十嵐稔
- 幹事/五十嵐正 ●副幹事/國谷大輔
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

本日のプログラム

「花の宴」 職業奉仕担当理事 佐藤 雄喜 会員

次週のプログラム 3月4日(火)

「卓話」 国際奉仕委員会委員長 林 完治 会員

第2745回例会 2014年2月18日(火) 天候 晴

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 池垣 信一 会長

■ゲスト (株) 函館丸井今井

代表取締役兼店長 岡崎 福美 氏 (函館RC)

■会長報告

理事会報告①2・3月プログラムについて承認②親睦活動委員会クリスマス家族会事業報告について承認、新年恒例会事業報告について承認、麻雀大会(3月15日)事業計画について承認③ローターアクト委員会温泉交流会・会長幹事会参加について承認

■幹事報告

長崎東RCより会報が届いておりますので回覧願います。

「函館丸井今井120年の歴史」



(株) 函館丸井今井
代表取締役兼店長 岡崎 福美 氏
(函館RC)

函館丸井今井は、1892年・明治25年の開業以来、122年間函館で商売を続けております。これもひとえに、多くのお客様のおかげと、深く感謝しております。

丸井今井の歴史を振り返ると、その始まりは明治4年にさかのぼります。丸井今井の店祖今井籐七が故郷の新潟県三条市を出発し、渡道したのが明治4年で、その第一歩はこの函館である。当時、籐七の兄栄七が函館で長崎屋という大きな廻船問屋の番頭をしており、兄を頼り函館に渡っている。

その後、兄栄七の紹介で当時内間町(現在の末広町)の陶器商武富平作の店に奉公し、そのとき出会った同郷者の高井平吉と共に、翌年の明治5年に札幌に渡り、同年5月1日に開業したのである。

箱館戦争が終わり、松浦武四郎の建言で蝦夷地を北海道と改め、北海道開拓使を設けて、佐賀藩主鍋島直正を初代長官に任じ、開拓使による北海道開拓の第一

月間テーマ 世界理解月間

歩を進めたのが明治2年であるので、その2年後に籐七は函館に渡ってきたのである。

今井家は新潟県三条市で米の仲買商として栄えた旧家であり、籐七は三男である。明治6年に五男良七、明治9年には四男武七を札幌に呼び寄せ、将来の独立を約し3兄弟で事業を拡大している。

明治24年、武七が新興地小樽に独立したのとは対照的に、良七はわが国五大開港場の一つ、人口6万人、当時本道第一位の人口を擁する函館に独立を希望し、籐七の許しを得た。良七は函館独立に当たり、当時の都心末広町、南部坂下と呼ばれた一角にあった山丸二菊地呉服店を譲り受け、函館市内事情を良く知るためと、1年間は店主菊地氏と共同経営し、翌25年4月25日に函館丸井今井呉服店を開店独立した。良七独立の年は36歳であった。これが現在の函館丸井今井の創設である。店祖今井籐七が明治4年23歳で渡道し、最初に函館に足跡を印した頃の函館人口は2万人。それから20年後、人口はその3倍に増加し、本州と北海道を結ぶ運輸交通の要衝として、また貿易港として大きく発展していた。

明治27年・28年の日清戦争下、対支貿易がとまった函館は一時不況に陥り、函館丸井今井の営業も不振であったが、戦後、景気の回復と共に本道海産品の対支輸出貿易は急激に増え、市況は以前にまさる活況を呈し、函館丸井今井の業績も歩調を合わせ一層伸びた。明治29年には店を拡張し、店内に洋物部、呉服太物御部を新設して店業を拡張している。

ところで、函館は由来大火の街、地勢的に浜風が強く、しばしば大火に見舞われ、文献に残るだけでも安永8年(1779年)以来百戸以上の大火が28回も発生している。日露戦争に大勝していくばくもたたない明治40年8月25日、東川町から出火し、大火となり、人家22,390戸を全焼した。本道未曾有の大火で、不幸函館丸井今井も被災し大きな損害を蒙った。

この大火で函館の諸官庁・学校・病院・市街・主要

建築物は殆ど焼失し、一時商業は全く不振に陥った。しかし函館人の逞しさは、たちまち槌音高く復興への立ち上がりを見せ、罹災した函館丸井今井もいち早く仮営業所を設けて営業を続けるかたわら、新店舗を建築し、年内には早くも完成し、函館復興と共に一路発展の途を歩んでいる。

しかし、それから14年後の大正10年4月4日、再度東川町から出火し、2,041戸を全焼し、翌5日によりやく鎮火し、函館丸井今井も再度罹災の難にあったが、木造仮店舗を建築して営業を再開し、新築工事は大正12月5月末完成し、仮営業所からの移転を終えて、6月1日百貨店として盛大な披露を行っている。

華やかな百貨店開館披露に店員は精一杯の笑顔でお客様の送迎に当たったが、心中はそれとはウラハラだった。函館丸井今井の創設者である今井良七が、開館を目前にした5月28日、胃癌のため死去し、哀悼の悲しみに満ちていたのである。初代函邸今井良七は68歳の生涯を閉じたのである。

百貨店として開店後の函館丸井今井は函館の復興を象徴するように業績を挙げて、大正末期から昭和初期にかけての不況期を乗り越え、函館の発展に密着して業績を伸張した。しかし、「10年ごとの大火」に、またまた函館丸井今井は災厄を受ける。昭和9年の春まだ肌寒い3月21日、函館は風速30メートル以上の大暴風の中で、住吉町の民家から出火し、一夜にして人家26,600戸を焼失し、2,000人余りの焼死者を出した空前未有の大火となった。大火の中心にあった、さすがの近代コンクリート建設の店舗も店内一物も残さず全焼し、無残な形骸を残すだけであった。このとき寄宿舎も全焼したが、従業員に死者1名もなかったことは不幸中の幸いだった。

この大火で東北北海道一を誇った函館市の人口は一時半減したが、函館丸井今井は直ちに末広町坂下に仮店舗を設けて、同年5月1日から営業を開始する一方、焼跡に復興工事を進め、同年10月末には地下1階・地上6階の店舗改修工事竣工し、11月1日に営業を再開している。

■ニコニコボックス

池垣信一会長 親睦活動委員会御苦勞様です。
五十嵐正幹事 函館丸井今井社長岡崎様宜しくお願いします。
原会員 チョットうれいしことがありました。

■出席報告

- ・2月18日(火) 49名中出席28名(免除4名)
- ・2月4日(火) 75.56%

この大火で同じく罹災した同業店棒二森屋が棒二百貨店と金森呉服店を合併し、昭和11年6月に駅前に百貨店を開業している。昭和45年に函館丸井今井が創設以来77年の地から五稜郭に新築移転することになった要因は、実はこの昭和9年の函館大火である。全市を焦土と化したこの大火を契機として、函館の市街地形が大きく変わった。大火以前の市の都心部は末広町十字街であったが、以後の市街地は函館駅前を中心に発展している。

やがて昭和12年、日支事変勃発から大東亜戦争に移行し、昭和20年8月に終戦を迎えるわけだが、戦後の混乱期を乗り越え、昭和29年に増改築、昭和34年には店内改装すると共に函館市最初のエスカレーター3基を新設するにいたっている。

戦後の函館の都心商店街は末広町から駅前一大門を中心に移行し、住宅街は湯の川方面に延び、五稜郭が副都心化した。こうした中で、末広町での百貨店経営は次第に苦境に立ち、函館丸井今井は五稜郭前、本町移転を決断している。

昭和43年10月に新店舗建設に着工し、昭和45年10月19日に地下1階・地上7階の現店舗が完成している。初代函邸創設以来77年の末広町での歴史の幕を閉じ、昭和45年10月21日に五稜郭での幕を開けたのである。

百貨店の原点は「接客」です。百貨店として変わらないのは、「人づくり」・「店作り、ひいては街づくり」・「お客様作り」です。丸井今井がお客様に無くてはならない存在になるため、社員の能力・販売力を高め、店舗のハードとソフト両面をみがき、挑戦を続けてまいります。三越伊勢丹ホールディングスの店舗網を利用し、地元の特産品を札幌、ひいては全国に発信するとともに、文化も発信し、にぎわいのある百貨店を目指し、街づくりのために頑張っておりますので今後ともよろしくお願ひいたします。

数々の苦難を乗り越え、函館と共に歩んできた122年。これからも皆様に愛され続けていただけるように、三ツ星百貨店を目指して頑張っておりますので、今後とも皆様方のご愛顧をよろしくお願ひいたします。

市内他クラブ プログラム

2月26日(水) 函館北 R C
函館における今後の医療・介護業界について 赤松 敬友 氏
2月27日(木) 函館 R C
タイ国際奉仕事業 加藤 健太郎 会員
2月28日(金) 函館五稜郭 R C 卓 話
3月 3日(月) 函館亀田 R C 卓 話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

労働行政事務代行 原事務所

原 隆俊 会員

中島町17-1 電話 53-5555

藤商事(株)

長谷川 浩之 会員

北斗市七重浜7-13-4 電話49-4031